

関西吹連 NEWS

発行 関西吹奏楽連盟広報委員会
 発行所 530-8211 大阪市北区中之島 2-3-18
 朝日新聞大阪本社内 関西吹奏楽連盟事務局
 TEL 06-6202-1231 FAX 06-6202-7878
 URL <http://www.kansaisuiren.jp>

今回は裏面の各府県の記事はなく、片面のみの発行とさせていただきますことをご了解ください。また、本来なら、各府県別・部門別の加盟団体の数を掲載するところですが、今年度は7月にならないと加盟団体が確定しない府県があることから、掲載は次号とさせていただきますので併せてご了解ください。

ごあいさつ

関西吹奏楽連盟

理事長 米田 正博



本年度は、最初から新型コロナウイルスの影響による関西吹奏楽コンクールと関西小学生バンドフェスティバル、関西マーチングコンテストの3事業の中止というとても残念なご報告からしなくてはなりません。

5月に入り、全日本吹奏楽連盟では全国一斉休校が2ヶ月以上続いていたことから、年度始めの大切な行事の入学式、続く始業式さえもできず、また全く部活再開のめども立たない異常な状況を深刻な事態と受け止め、秋季事業開催の可否を危惧していました。例年、吹奏楽コンクールは7月より府県予選が始まり、8月の支部大会予選へと続きます。同様に小学生バンドフェスティバルやマーチング予選も同じ猛暑の時期から練習に入り、8月から9月にかけて府県予選を経て支部大会と続きます。これに伴う合奏体形での毎日の練習は、新型コロナウイルス感染の危険が強く心配され、ホールなど

ど閉鎖空間で多くの入場者が入る大会は、さらに感染拡大のリスクが高まります。そこで全日本吹奏楽連盟では5月9日に、感染の予防と拡大を防ぐため、そしてなによりも生徒たちや関係者の健康、命を守るために、慎重な議論の末、やむなく中止を決定しました。周囲でも同様に、多くのスポーツイベントやコンサートなどの文化関連行事も、プロ、アマ問わず相次いで中止の発表が続きました。

この全日本吹奏楽連盟の中止決定を受け、関西吹奏楽連盟でも、コンクール、小学生バンドフェスティバル、マーチングコンテストの関西3事業の可否について協議いたしました。関西6府県でも、各自治体及び教育委員会からの部活動自粛要請を受け、部活動再開のめどが立たず、正常な吹奏楽活動再開も見通せない状況に苦しんでいました。また前述の3行事は特に人気が高く、密閉されたホールに満杯の観客を迎えることになる当日は三密を避けることが困難であると予想され、吹奏楽に関係する全ての皆様やそのご家族の安全及び生命を守ることができないとの立場から、5月11日の臨時理事会で中止を決定いたしました。

このことは本連盟にとりましても苦渋の決断であり、生徒たちの強い願いや指導者の皆様の熱い想いを、

また吹奏楽を愛好しご支援いただいている方々のお気持ちを考慮した上で、今回の決定といたしました。この大きな困難に負けず、必ず素晴らしい吹奏楽の未来が訪れることを信じ、さらなる目標に向かい日々の活動を大切にさせていただくことを強く願います。

活動自粛が解除されたこれから先は、府県自治体、教育委員会等の指示を守りながら、皆様の安全と健康、そして何より生命を守ることを最優先に部活動をしていただきたいと思います。

残された関西の本年度事業としては、2月7日(日)に、あましんアルカイックホールで関西ステージマーチングフェスティバルが、2月11日(木・建国記念の日)に京都コンサートホールで関西アンサンブルコンテストがあります。これらにつきましては、時期的に新型コロナウイルスの感染再来やインフルエンザの流行が心配されますが、皆様と共に開催できることを心より願っています。

役員一同、この緊急事態に屈することなく吹奏楽を守り、益々発展させていけますよう、一層の努力を重ねる所存です。今後とも本連盟に対し、変わらぬご理解、ご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

テレワーク演奏で心のつながりを ~奈良県吹奏楽連盟の取り組み~

奈良県吹奏楽連盟では、様々な事業に関わっていただいている森脇ビデオ企画のご協力を得て、テレワークによる合奏を企画し演奏動画を募集したところ、5月末で約40名からの応募がありました。曲は「心の扉」。夏の高校野球のエンディング曲を永年にわたって歌っておられる西浦達雄さん(毎年BRASS AIDというチャリティーコンサートにボランティアでご出演下さっています)が、昨年の吹連60周年にあたり作って下さった楽曲です。吹奏楽版の楽譜も作成し、加盟団体には配布しました。

離れていても共に音楽に取り組むことを示せたのは勿論なのですが、この曲の歌詞に込められた作者の思いが、感動的なメロディーと共に我々に強く響きました。「作曲家は人々の心、自然の営みの代弁者であり、作曲家を通じて、我々は過去、現在、未来、地域を超えた人々と会話をして

いるのです。そして演奏者は作曲家が書き上げた文章を読み上げるナレーターです。その声(楽器の音色)、調子、その心で伝わり方が随分変わってきます。我々はその伝え方を日々学んで(練習して)いるわけですが、その中で辛いことも苦しいこともあるでしょう。でも、そこを乗り越えると響きあう、言葉を交わさなくても解り合える心が、互いの胸の内に宿っているのを感じるようになるはずです。それが、我々が頑張っている音楽の力であり、音楽が時代を超えて世界の人々に愛される理由だと思います。」

初演された昨年10月には想像だにできなかった現況でこの曲を聴くと、まるで今この時に大切なメッセージを伝えるために作られた曲であるように感じます。

動画配信はNHKの地域ニュースや朝日新聞に取り上げていただき、記事を読んだ

高3生吹奏楽部員の娘さんを持つお母さんが、「娘と一緒に涙を流して見た。苦しいのは自分だけではなく、みんなで一つになって乗り越えなければならないと思えた。」という感想を新聞の「声」欄に寄せて下さったりもしました。録画中に泣き出してしまったり撮り直したメンバーがいたり、映像を視聴して落涙した人もたくさんいます。この取り組みと西浦さんの素晴らしい曲によって、我々は改めて音楽の持つ力を再認識させてもらえました。これまで懸命に音楽に打ち込んで来た我々だからこそ、今できることをしっかりやっていたいかなければならないと決意しています。

(事務局長 豊田 淳)

*なお、この映像は奈良県吹連HPでご覧いただけます。

<http://www.ajba.or.jp/nara/>

2020年度 関西吹奏楽連盟役員名簿

会長	丸谷 明夫(大阪府)
理事長	米田 正博(滋賀県)
副理事長	吉永 陽一(兵庫県)
	磯部 将門(京都府)
	小林 杉男(朝日新聞社)
理事	武部 真明(朝日新聞社) 井口 憲一(滋賀県)
	小幡 理(滋賀県) 北原 祥弘(大阪府) 恋野 善樹(兵庫県)
	清水 雄介(和歌山県) 豊田 淳(奈良県) 林 晃(京都府)
	平岡 順一(京都府) 福島 秀行(奈良県) 三浦 克哉(兵庫県)
	森貞 昌春(和歌山県) 安井 勇人(大阪府) 山崎 直人(京都府)
幹事	端場 一浩(朝日新聞社)
監事	佐竹 司郎(奈良県)
	湯川 昌彦(和歌山県)
事務局長	岡本 廣敏(大阪府)
事務局次長	岩山 悦志(兵庫県)
	(関西吹奏楽連盟事務局長 岡本 廣敏)